

## 利根町教育委員会定例会会議録

平成 29 年 2 月 28 日 午前 9 時 00 分開会

### 1. 出席委員

教 育 長	杉 山 英 彦 君
教育長職務代理者	武 谷 昭 子 君
委 員	木 村 矩 男 君
委 員	佐 藤 忠 信 君
委 員	村 上 盛 一 君

### 1. 欠席委員

な し

### 1. 出席事務局職員

学校教育課長	寺 田 寛 君
生涯学習課長	坂 田 重 雄 君
指導室長	直 井 由 貴 君
学校教育課長補佐	大 越 克 典 君
学校教育課長補佐	花 嶋 み ゆ き 君
学校教育課係長	布 袋 哲 朗 君

### 1. 議事日程

#### 議 事 日 程

平成 29 年 2 月 28 日 (火曜日)  
午前 9 時 00 分開会

- 日程第 1 報告第 1 号 教育長の休暇等の専決処分について  
報告第 2 号 利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成 29 年 1 月分)  
報告第 3 号 平成 28 年度利根町教育支援委員会諮問件数及び審議結果報告について
- 日程第 2 議案第 1 号 平成 28 年度利根町一般会計補正予算 (第 7 号) 教育関係予算の意見の申出について)

議案第 2 号 平成 29 年度利根町一般会計予算教育関係予算の意見の申出について

議案第 3 号 工事請負契約の締結に係る意見の申出について

議案第 4 号 夏休みの短縮について

日程第 3 その他

## 1. 本日の会議に付した事件

- 日程第1 報告第1号 教育長の休暇等の専決処分について  
報告第2号 利根町教育委員会後援名義の使用承認について（平成29年1月分）  
報告第3号 平成28年度利根町教育支援委員会諮問件数及び審議結果報告について
- 日程第2 議案第1号 平成28年度利根町一般会計補正予算（第7号）教育関係予算の意見の申出について  
議案第2号 平成29年度利根町一般会計予算教育関係予算の意見の申出について  
議案第3号 工事請負契約の締結に係る意見の申出について  
議案第4号 夏休みの短縮について
- 日程第3 その他

---

午前9時00分開会

○教育長（杉山英彦君） おはようございます。

お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

ただいまより、平成29年2月の教育委員会定例会を開催いたします。

きょうご審議いただく議案は、専決処分を含め、報告が3件、議案が4件の計7件でございます。

議題に入ります前に、報告第1号 教職員の休暇等の専決処分につきましては、教職員の人事に関する案件のため非公開に、報告第3号 平成28年度利根町教育支援委員会諮問件数及び審議結果報告につきましては、個人情報保護の観点から非公開に、また、議案第1号 平成28年度利根町一般会計補正予算（第7号）教育関係予算の意見の申出についてから、議案第3号 工事請負契約の締結に係る意見の申出までにつきましては、平成29年第1回議会定例会で審査を予定している案件なので、町長の公正、円滑な町政執行を確保する観点から非公開にしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（杉山英彦君） ありがとうございます。

それでは、ただいまご承認いただきました報告第1号及び報告第3号並びに議案第1号から議案第3号までを非公開といたします。

---

○教育長（杉山英彦君） 日程第1 報告第1号 教職員の休暇等の専決処分についてを議

題といたします。

〔「非公開」により省略〕

○教育長（杉山英彦君） では、報告第 1 号 教職員の休暇等の専決処分については、原案のとおり承認いたします。

○教育長（杉山英彦君） 続きまして、報告第 2 号 利根町教育委員会後援名義の使用承認について（平成 29 年 1 月分）を議題といたします。

担当課長に説明を求めます。お願いします。

○学校教育課長（寺田 寛君） それでは、報告第 2 号 利根町教育委員会後援名義の使用承認について（平成 29 年 1 月分）をご説明いたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 25 条第 3 項及び利根町教育委員会事務委任規則第 4 条第 2 項の規定により報告するもので、2 件の申請があり、承認いたしました。

1 件目につきましては 1 ページを開いていただきまして、NPO 法人「子どもみらい飛行」が 3 月 5 日（日）から 5 月 14 日（日）にわたりまして、水戸生涯学習センターほか県内各会場において、「第 5 回 TOSS 全国 1000 会場教え方セミナー in 茨城」を開催いたします。

学級経営がうまくいかない若い教師が学級開きの大切さを知り、1 年間学級を安定させることができるようにすること、また、クラスをまとめる方法や子どもへの対応の仕方を紹介し、有効な学級経営の方法を紹介するということです。

2 件目ですが、第 4 回利根町民謡・民舞の祭典実行委員会が、3 月 25 日（土）に利根町公民館におきまして、「第 4 回利根町民謡・民舞の祭典」を開催いたします。事業内容は、民謡・民舞の愛好者の発表会及び利根地固め唄の伝承・普及を図るということです。

説明は以上でございます。

○教育長（杉山英彦君） 2 件、使用申請が出ました。今、説明が終わりました。

何かご意見、ご質問ございますか。

○委員（木村矩男君） これの 1 番目のやつは、利根町で開催する予定はあるんですか。

○学校教育課長補佐（花嶋みゆき君） 利根町には来ないです。

県内の牛久市中央生涯学習センターとか大きな会場で開催されます。

○教育長（杉山英彦君） 第 4 回の利根町民謡・民舞の祭典には参加されますか。

教育委員会としてはご案内来ていないんでしょう。

○委員（佐藤忠信君） 来ていない。去年は、妻が昔その団体にかかわることがあって、案内が来ました。

○委員長職務代理者（武谷昭子君） いただいていないですよ、正式にはね。

○委員（佐藤忠信君） こちらには来ていない。

○教育長（杉山英彦君） よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（杉山英彦君） では、報告第 2 号 利根町教育委員会後援名義の使用承認について（平成 29 年 1 月分）は、原案のとおり承認いたします。

---

○教育長（杉山英彦君） 続きまして、報告第 3 号 平成 28 年度利根町教育支援委員会諮問件数及び審議結果報告についてを議題といたします。

〔「非公開」により省略〕

○教育長（杉山英彦君） では、報告第 3 号の平成 28 年度利根町教育支援委員会諮問件数及び審議結果報告については、原案のとおり承認いたします。

---

○教育長（杉山英彦君） 続きまして、日程第 2 議案第 1 号 平成 28 年度利根町一般会計補正予算（第 7 号）教育関係予算の意見の申出についてを議題といたします。

〔「非公開」により省略〕

○教育長（杉山英彦君） では、議案第 1 号 平成 28 年度利根町一般会計補正予算（第 7 号）教育関係予算の意見の申出につきましては、原案のとおり同意することといたします。

---

○教育長（杉山英彦君） 続きまして、議案第 2 号 平成 29 年度利根町一般会計予算教育関係予算の意見の申出についてを議題といたします。

〔「非公開」により省略〕

○教育長（杉山英彦君） では、議案第 2 号 平成 29 年度利根町一般会計予算教育関係予算の意見の申出につきましては、原案のとおり承認することといたします。

---

○教育長（杉山英彦君） 続きまして、議案第 3 号 工事請負契約の締結に係る意見の申出についてを議題といたします。

〔「非公開」により省略〕

○教育長（杉山英彦君） では、議案第 3 号 工事請負契約の締結に係る意見の申出につきましては、原案のとおり承認いたします。

---

○教育長（杉山英彦君） 続きまして、議案第 4 号 夏休みの短縮についてを議題といたします。

担当課長に説明を求めます。お願いします。

○学校教育課長（寺田 寛君） それでは、議案第 4 号 夏休みの短縮についてご説明いたします。

議案をめぐっていただきまして、提案理由にも書かれておりますとおり、平成 23 年度に小学校、平成 24 年度に中学校において、学習指導要領が全面改訂されているところがございます。

総授業時間数が増加するなど教育課程の充実が図られておりますが、本町におきましては平成 27 年度に全小中学校に空調設備エアコンの設置が完了しております。夏季の暑い時期におきまして快適な環境で学習に取り組める体制が整えられたため、昨年度は夏期休業日を 3 日間短縮を試行いたしました。

その後、保護者からアンケート調査を行った結果、短縮に賛成の意見が多数であったことを踏まえまして、より一層の学力の向上を図ること、また、インフルエンザ等による学級閉鎖に伴う授業時数の確保をするため夏期休業日を 3 日間短縮しまして、8 月 29 日から授業日としたいので、提案するものでございます。

説明は以上であります。

○教育長（杉山英彦君） 説明が終わりました。

また、ご質問、ご意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員（村上盛一君） この関連性も「余りよくなかった」、 「よくなかった」が 33%なんですけれども、この理由というのは何なんでしょうね。何が良くないんでしょうか

○学校教育課長（寺田 寛君） おおむね 3 分の 2 の方が「よかった」という回答をしているんですけれども、3 分の 1 の方は、今言いましたように「余りよくなかった」、 「よくなかった」というご意見があるんですけれども、ただ、内容を見ますと、今言いましたように、8 月の下旬に短くして試行を昨年したわけなんですけれども、その時期が 8 月下旬だとせわしないとかという家庭の事情とか、あるいは旅行に行けないと。あるいは 7 月の初めを遅くしたらいいんじゃないかという意見の方々がいらっしゃって、そういう方は、短縮には賛成なんだけれども、8 月下旬に実施した内容は良くなかったという保護者の方がおりますので、そういう意味も含めまして、そういう方でその程度なのかなど。そのほかにもちょっと個別の事情はあるかと思うんですが。そういう事情もありまして、3 分の 1 という形になっております。

○委員（村上盛一君） もっと長くしてほしいということじゃないですか。

○学校教育課長（寺田 寛君） 言われました。もっと長くして、要するに夏休みはもっと短くしてもいいんじゃないのと。短いとか、もっと長くしてもいいという話もありました。

- 委員（村上盛一君） それもあると思うんですね。
- 学校教育課長（寺田 寛君） そういう意見も、個別にいろいろありました。おおむね賛成ということの意見が多かったということと、その時期とか日数とかについては、いろいろ意見があるということで、多種多様の意見はありました。
- 委員（村上盛一君） わかりました。
- 委員（佐藤忠信君） 利根中が回収率が低いのは、やっぱり 3 年生だと余り関心がない感じなんじゃないかな。
- 学校教育課長補佐（花嶋みゆき君） インフルエンザもありまして、あと、スキー学習とかも重なりまして、ちょうどアンケート調査をしたときが。それで回収がなかなか進まなくて、その後に来たものを含めても回収率 51%になってしまいました。
- 委員（村上盛一君） そうですか。ここがもうちょっと率が上がるとまた、このパーセンテージも変わってくるのかなと思いますけれどもね。
- 委員（木村矩男君） 去年何月でしたっけ。発表したのは。
- 学校教育課長（寺田 寛君） 去年は、発表したのは 3 月の定例会でたしか、委員さん方にご意見を伺って、試行しようとなりまして、それで各学校に連絡して実施いたしました。
- 委員（木村矩男君） そんな遅くはないんですか。
- 学校教育課長（寺田 寛君） そうですね。
- 委員（木村矩男君） 夏休みの旅行とは。
- 学校教育課長（寺田 寛君） ただ、どうしても、夏休みの旅行は、お盆の頃は高いですよね。後半になるとだんだん安くなってくるんですね。そうすると、8月下旬に予定を組んでいた人が「旅行に行けないよ」というような意見とか、そういう意見は多かったような気がいたします。
- 委員（佐藤忠信君） あと、私も中 3 年で女の子がいるんですが、多分宿題の関係じゃないかと。
- 学校教育課長（寺田 寛君） それもありますね。
- 委員（佐藤忠信君） 追い込みができなくなったと。
- 学校教育課長（寺田 寛君） あと、どうしても 9 月 1 日ってキリがいいので、9 月 1 日から新学期のほうがわかりやすいという意見もありました。
- 委員長職務代理者（武谷昭子君） そうです。それから私思うんですが、これは大人のアンケートですよ。子どもたちの気持ちは少しは出ておりますか。
- 子どもたちの気持ちのアップ。最初にやるのか、まだ休みなのにするのかという精神的なものが全然、その 3 日間やったことがプラスに、向上につながるかしらと。子どもたちの意見も少し、事前に先生方のほうで把握なさってもいいんじゃないか。
- 夏休みをちょっと遅くなくても今の勢いでやっちゃって、というような気持ちのほうが子どもたちの教育の、気持ちの問題になるんですけれども、そういうところをやっぱりく

み取ってあげてもいいんじゃないかと。

全てマイナスのほうに子どもたちは取ってしまいますから、子どもたちの意向も入れてやりましょうと。君たちの学力向上のためだよというようなことも、子どもに意識付けて、そういうのを、3日にするか5日にするかというような効果の出る範疇もみんな考えて。子どもたち自身も少し考えて、自分たちで行動するというところが、私は小さいときから必要じゃないかと思うんです。

家庭では親に言われたとおりにやって、学校では先生に言われたとおりにやって、自分たちの気持ちはどこにあるんだろう、そういう疑問を持っている子もいると思うんですね。

だから自分たちの、学力向上というのは自分たちがやるんだから、夏休みを返上してもやるという気持ちをちょっとでも育てていけば、自分で考えて行動するという人間の基本になることにつながる教育である。それにつながっていくんじゃないかと思うんですけれども。子どもの意見が全然入っていないというのもちょっと私は。入っておりますか。

○学校教育課課長補佐（花嶋みゆき君） そのアンケートの中のご意見の中に、「子どもは早く友達に会えるので喜んでいる」というような意見とか、あと、「やっぱり7月にしてもらいたって子どもが言っていました」とか、そういった子供の意見を添えたものも結構ありました。早く友達に会えるので良いというのは結構ありましたね。

○委員長職務代理者（武谷昭子君） そうですか。

○学校教育課課長補佐（花嶋みゆき君） はい。ただ、子供たちから勉強がどうのというのは無くて。そういう答えが多かったです。

○委員長職務代理者（武谷昭子君） 学校に行くということは、向上心で行くと思ってるものですから、やっぱり学業で続けたいという気持ちがあつて。いや、子どもの意見も聞いてあるのであれば、それは先生方の指導の方法によってできるんじゃないですか。

○学校教育課課長補佐（花嶋みゆき君） 今回の保護者アンケートの中では、子どもたちがこう言っていましたというのが書き添えられていました。

○委員長職務代理者（武谷昭子君） それはよくわかりました。

○委員（佐藤忠信君） 済みません、私も子どもがいる保護者の立場としては、やはり7月の初めのほうに持ってきてしまいますと、結局夏休みを早くしたいということで、そこは単にワクワク感の期間が終わってしまうと。

最後の終わるところでやることによって、9月1日からの新しい学期をスタートするに当たって、今までの教訓からいくと、なかなかエンジンがかからないと。9月1日から、特に中学生なんかはなかなかエンジンがかからないということもあるので、その前のある種の3日間がアイドリング期間じゃないですけども、徐々にそこでならして、「1日からスタート」みたいな、そういう形が理想的なのかなという気はしています。子どものそういう意見もあると思うんですけども、先ほども言ったように、早く友達に会えるとかそういった意見もありますし、そういう意味では、今のこの形はあるのかなというような気はしています。



○教育長（杉山英彦君） 子ども向けのアンケートではなかったんですけども、親が箇条書きで書くときに子どもに話を聞きながら書いている部分もあるので、参考にしてあるかなと思うので、一概に大人が、2学期早く生まれればいいやみたいな感じで書いたものだけではないんです。だから、子どもの意見も先ほど出ていましたように。

○委員長職務代理者（武谷昭子君） 私は、するに当たって、子どもたちも納得、先生と話し合いで、こういうことなんだよと、君たちも一緒にやろうという話し合いで、一方的に押しつけられると、ちょっと子どもとしてはどうかなということだけです。

ただ、子どもたちもやっぱり納得して、全部が自分の思うとおりになるということはどうしてもなりません。自分の発言として発言はして、みんなの意見も聞いて、保護者の意見も聞いて、先生の意見を聞いて、そして決まるのであれば、自分たちもそれに乗らなきゃいけないという、そういうちょっとした精神的なこともこういうときにきっと学べるんじゃないかと思うんです。ただ、なかなか表立ってできないけれども、それをやるぞと言って、子どもたちに少しでも自覚が、生まれるきっかけになればいいと思うんです。

大事な夏休みですから、一番子どもには影響あると思うんですね。それを不満として持っているか、自分たちのためになるんだと持って持っていくか、それは先生のご指導だと思いますので、そこら辺をお考えいただけたらありがたい。

○学校教育課長（寺田 寛君） それが非常に重要なことだと私も思います。

お子さんはどうしても休みたいという気持ちが強いかなと思うんですけども、それから、そういう意味でも、なぜそれをやるかというのをやっぱり自分で考えてやるということは重要だと思いますし、その辺につきましても、例えば学校の中で、夏休みのちょっと前からクラスで先生から話しかけたいです。ちょっとこういうふうになるだけけれども、みんなちょっと話し合ってくれる、と言って、どういうふうにしたらそれを有効にできるかというのをちょっと考えてみて、というのをちょっと考えてもらう機会を設けてあげたりとか、先生に指導してもらおうとか、そういうことをやれば少しはいいのかなと思いますし。

○委員長職務代理者（武谷昭子君） ぜひお願いしたいです。

○学校教育課長（寺田 寛君） あとは、アンケートの中で先ほど言いましたけれども、空調が入ったので、すごい、9月に入ってから暑かったんですけども、非常に環境がよくなった、涼しくなったので。普通ですと、外にいと暑くて勉強にならないけれども、教室に来ると汗がスーッと引いて涼しいので、非常にやりやすいという意見も多かったんですね。ですから、空調が整備できたというのが、非常に子どもたちにとっても勉強に集中できる、いい環境づくりができたのかなと思っていて、学校に行けば涼しいんだよと教室が涼しいので、ということで進められればなとは思っております。

○委員長職務代理者（武谷昭子君） そうですね。環境が整いました。

○教育長（杉山英彦君） そうですね、やっぱりいつも、押しつけじゃなくて、親子ともどもいろいろ話し合って、納得した中身であればいいかなと思いますよね。

○委員長職務代理者（武谷昭子君） そこにちょっとそれを入れていただくだけで随分違

うんじゃないでしょうか。

○教育長（杉山英彦君） 発達段階にあつて、小学生は結構、先ほどアンケートにもありましたように、私も見ていて、2学期、9月1日付に、たくさんの思い出を持って学校に来るんですよ。

夏休み中、こんなことがあつたあんなことがあつたと、夏休みの宿題いっぱい抱えて、真っ黒な日焼けした顔をしながら来る。ああ、2学期が早く始まるのを楽しみにしていたんだなというような子どもたちを見ると、やっぱり早目の始まりもいいのかな。

中学生はもうちょっと、幾らでも休めたほうがいいかななんて、そういう子もいますけれどもね。

先ほど佐藤委員の言われたように、なかなか9月1日といつてもエンジンがかからないので、少し生活のリズムを整えるという形で、9月1日から2学期だというふうな心づもりの中で、準備段階をこうしていくというか、そういうのができるのは少しいいかなと。

保護者からの意見があつたと思うんですが、7月中に、要するに休みの前のところだと思つたんですが、いろいろ県の事業とかそういうのが絡み合つて、なかなかそこに動かせないんですよ。

夏休みにサマースクールみたいな形で「学びの広場」というのがありますが、その部分を今度、授業日というか、1学期の延長みたいな形にすればなと思つたんですが、その間に県のほうの教育課程で、先生方が研修する日が何日か入つてきちゃうんですよ。

そういうこともあつて動かせないというような事情もありまして、この間ちょっと話をしたのは、後半でやるか前半でやるかといつて、後半でやつたので、前半で一回やつてみてと思つたんですが、その前半がとれないの。そういう実情がちょっと出てしまったので、これはやっぱり後半で今はやつていくしかないのかなというような結論になつたんですけども。

これが、今ガタガタしていますけれども、ある程度定着してくると、さらに効果が上がっていくのかなと。29日から始まるということになれば、それに合わせて家庭の旅行とかそういうのも計画していただければいいことでありますし、子どもたちの宿題も、もう3日前から、持っていくしかないんだからというふうに計画を変えていくなりすれば、そうすると2学期のスタートが非常にスムーズなんですよ。

運動会が前倒しになつてやっていたりなんかもしましたけれども、2学期、子どもたちが安定して学習指導に取り組めたと、先生方からもお話がありまして、それではよかつたかなというふうに思いました。

そういうふうな形で、アンケートもそうですけれども、これからの成果を期待したいなというふうに私どもも考えていますので、これで進めていければなというふうに考えております。

じゃ、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（杉山英彦君） それでは、議案第 4 号 夏休みの短縮については、原案のとおり承認いたします。

---

○教育長（杉山英彦君） 続きまして、日程第 3 その他ところで、何かございますでしょうか。どんなご意見でも結構ですが。

○委員（佐藤忠信君） 先ほどの空調についてなんですけれども、今はこの話が出たので、あの設定温度というのは一応決められて、つけるようになってますか。

○学校教育課長（寺田 寛君） そうですね。基本的には 28 度に設定しております。

○委員（佐藤忠信君） そうですよ。

○学校教育課長（寺田 寛君） ただ、状況によっていろいろあるので、多少下げてもらってもいいかと思います。運用上は。

○委員（佐藤忠信君） 去年は、やっぱり日が当たるとどうしても室内温度が上がっていて、設定温度にしてもなかなか下がっていかないようで、そういうところをやはり先生方の判断に任されていると思うんですが、そこは徹底したほうがいいのかなというのをちょっと感じました。

やはりせっかくいい環境で勉強できるからといって設置したものを生かされないと、もったいないという気もしますので、先生によって多分その考え方があると思うんですが、そこはちゃんと、例えば、暑そうにしているのかなとかいうところを判断していただきたい。

○学校教育課長（寺田 寛君） 教室も広いですので、窓際と廊下側ではやっぱり温度差があると思うんです。均一にというのはやっぱり時間かかりますし、それについては、個別に判断していただいて、例えばカーテンを締めるなり、あるいは温度設定を変えるなり、あと風量、風向も変えられるので、いろいろ工夫していただいて、あくまで教室での環境に応じて、勉強に集中できるように、そういった施設ですので、絶対 28 度とかにしていなくてだめだよということではありませんので。

○教育長（杉山英彦君） その他、ありましたら。大丈夫ですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

---

○教育長（杉山英彦君） それでは、以上で平成 29 年 2 月の教育委員会定例会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

午前 10 時 39 分閉会